

ごあいさつ 会長 岡田 淳子（県立広島大学保健福祉学部）



2023年5月、コロナ5類への移行、広島サミットを皮切りにマスク利用緩和や移動の活性化など社会は再起動しています。しかし、コロナ禍での巣籠り期間にリモート会議の定着、流通やサービスはオンライン化にシフトし、人々のライフスタイルに変化をもたらしました。生活様式がどのように変化しても、人々の生命と生活を支える看護者は専門性を高め、より質の高い看護を提供するために、一層熱心に学び、さまざまな研究や情報交換の場を必要としています。

本会におきましては、最良の看護を提供するために、常に最新の情報や知識を身につけ、教育・研究および実践を続けることができるように、学会の活動を積極的に展開してまいります。

今年度は4年ぶりに対面での学術集会を開催することになりました。看護者らが抱える課題や問題点にも目を向け、教育・研究・実践者らがより多くの知識や情報を得て連携し、解決するための取り組みも進めていきます。そして、中国・四国地方から高い水準の看護を発信できるよう、全力で支援してまいります。

今後も会員の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和4年度学術セミナーがWEB開催されました

令和4年度実行委員：市原多香子（学術委員長）、松本啓子、渡邊久美

地方会学術集会の開催がされない中で、令和4年度は学術セミナーだけを開催（令和5年3月4日から3月31日まで）することとなりました。初めて学術セミナー委員を引き受けたこともあり、会員からの希望を考慮したセミナーを予算の範囲内でどのように開催すればよいのか検討を重ねて、オンデマンド配信としました。令和3年度の学術セミナーが「調査票の作成」でしたので、そこにつながる形で量的研究とし、テーマは「量的研究論文より統計結果を読み解く」に決めました。今回は、香川大学の教員をご紹介できる機会と考え、香川大学医学部衛生学教室の宮武伸行先生に講師を依頼しました。量的研究論文を読むとき必要となる統計の知識を数式を使わない解説と、統計の専門家の視点から看護論文のクリティークをしていただきました。

セミナー申し込み者は178名（中四国会員174名、その他の会員4名）、アンケートへの回答が35名。参加者の年代は40代以上が多く、所属は教育研究機関が多く、オンデマンド配信が「とてもよかった」、研究に取り組むうえで「役に立つ」等の回答が得られました。以下に、参加者からのコメント例を紹介します。

「論文が読めるようになるための必要な用語や統計の知識が不足していたので、セミナーに申し込みました。」「自分だけでは、なかなか丁寧に読み込むことができなかったのですが、実際に発表されている論文を用いて、研究デザインの解説をしていただきながら批判的に論文を読んでいくための統計の知識を学ぶことができました。」「何度も繰り返し学ぶことができて大変参考になりました。」「是非、こういった企画をまた継続的にしてもらいたいです。」

今回のオンデマンド配信では、日本看護研究学会理事の山勢博彰先生から、ホームページでの動画の管理や申込者へのメール配信等にご尽力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、令和5年度学術セミナーは、島根県立大学の石橋照子実行委員長が、全国区で活躍している講師を招聘する企画をされていますので、楽しみにしています。多くの会員様に島根県までお越しいただければ幸いです。

●令和4年度事業報告●

1. 会員数

令和4年8月18日時点 827名

2. 令和4年度総会開催

日 時：令和5年3月22日～3月31日

開催方法：会員情報管理システムを利用した議決権行使書による議決とする。

3. 委員会報告

1) 運営委員会

(1) 第1回運営委員会会議 令和4年8月28日(日)

12:00～13:00, 松山市総合コミュニティセンター& Zoom ハイブリッド開催

①第35回学術集会(鳥取)の結果について報告された。

②学術委員会の活動について報告があった。

③広報委員会の活動について報告があった。

④運営委員選挙について説明があった。

⑤会計運営における方針が報告された。

(2) 第2回運営委員会会議

令和5年3月18日(土) ZoomによるWeb会議

①令和4年度事業報告

②令和3年度会計報告、監査報告

③令和4年度事業計画案

④令和4年度予算案

⑤今後の学術集会について

2) 学術委員会

(1) 第1回学術委員会会議を令和4年8月28日(日)運営委員会終了後に開催した。

(2) 学術セミナーの開催

開催方法：オンデマンド開催

配信期間：令和5年3月4日(土)～3月31日(金)

テーマ：量的研究論文より統計結果を読み解く

講師：宮武伸行(香川大学)

3) 広報委員会

(1) 令和4年度ニュース・レター No.30 を9月に発行し、住所不明者を除く会員812名に送付した。

●令和4年度会計報告●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	令和4年度予算	令和4年度実績	差異
前年度繰越金	410,145	410,145	0
地方会補助金	421,500	410,500	- 11,000
学術集会準備金返金	300,000	300,000	0
雑収入	6	6	0
合 計	1,131,651	1,120,651	- 11,000

【支出の部】

(単位：円)

費 目	令和4年度予算	令和4年度実績	差異
事業費	20,000	48,400	28,400
郵送費	115,000	115,030	30
事務費	25,000	14,062	- 10,938
人件費	17,000	30,000	13,000
各種委員会活動費	35,000	11,400	- 23,600
印刷費	110,000	89,563	- 20,437
学術セミナー支援金	150,000	76,711	- 73,289
学術集会支援金	0	0	0
学術集会準備金	0	0	0
寄付金	0	35,000	35,000
次年度への繰越金	659,651	700,485	40,834
合 計	1,131,651	1,120,651	- 11,000

●委員会より●

【学術委員会】

令和5年度学術セミナーは、第36回中国・四国地方学術集会に併せまして、対面とオンライン配信のハイブリッド開催とさせていただきます。

ぜひ学術集会及び学術セミナーにご参加いただき、会員の皆さまの研究活動を発展させる機会としていただけましたら幸いです。

(実行委員長：石橋照子)

■プログラム

テーマ：「現象学入門ー理論的背景から分析方法までー」

講師：西村 コミ 先生(東京都立大学 健康福祉学部／大学院人間健康科学研究科 教授)

開催方法：学術集会会場および Web 参加 60分

開催日時：2024年3月17日(日) 11:00～12:00

【広報委員会】

2023年、ニュースレター No.31 をお届けします。コロナウィルス感染症が5類に位置付けられ、以前の日常に戻りつつあります。広報では今後も地道に会員の皆様へ必要な情報を発信していきます。

(委員長：佐伯由香)

●令和5年度事業計画●

1. 令和5年度総会開催

日 時：令和6年3月17日（日）
場 所：島根大学医学部看護学科

・第2回

日 時：令和6年3月16日（土） 運営委員会終了後～
場 所：島根大学医学部看護学科

2. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第1回

日 時：令和5年8月19日（土）12:00～13:00
方 法：Web 開催

(2) 第2回

日 時：令和6年3月16日（土）
場 所：島根大学医学部看護学科

3) 広報委員会

(1) 令和5年度ニュース・レター No.31 を9月に発行、会員約800名に送付する。

(2) 委員会開催

・第1回

日 時：令和5年8月19日 運営委員会終了後～
場 所：Web 開催

・第2回

日 時：令和6年3月16日（土） 運営委員会終了後～
場 所：島根大学医学部看護学科

2) 学術委員会

(1) 学術セミナーを地方会学術集会の中で開催する。

日 時：適宜メール会議

(2) 委員会開催

・第1回

日 時：令和5年8月19日 運営委員会終了後～
場 所：Web 開催

3. 第36回学術集会

1) 実行委員長：津本優子先生（島根大学）

2) 開催時期：令和6年3月17日（日）

3) 開催場所：島根大学医学部看護学科

●令和5年度予算●

【収入の部】

(単位：円)

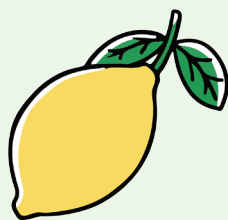
費 目	令和4年度予算	令和4年度実績	令和5年度予算案
前年度繰越金	410,145	410,145	700,485
地方会補助金	421,500	410,500	413,500
学術集会準備金返金	300,000	300,000	0
雑収入	6	6	6
合 計	1,131,651	1,120,651	1,113,991

●令和5年度予算●

【支出の部】

(単位：円)

費 目	令和4年度予算	令和4年度実績	令和5年度予算案
事業費	20,000	48,400	30,000
各種委員会活動費	35,000	11,400	35,000
学術集会支援金	0	0	150,000
学術セミナー支援金	150,000	76,711	0
学術集会準備金	0	0	300,000
印刷費	110,000	89,563	110,000
郵送費	115,000	115,030	115,000
人件費	17,000	30,000	40,000
事務費	25,000	14,062	20,000
寄付金	0	35,000	0
次年度への繰越金	659,651	700,485	313,991
合 計	1,131,651	1,120,651	1,113,991



一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会第36回学術集会のご案内

第36回学術集会は2024年3月17日、島根大学医学部看護学科において開催いたします。今後の医療・看護とは切り離すことのできないAI・ICTという局面に焦点をあて、研究の可能性を探るという内容で構成いたしました。

対面での現地開催が叶う久しぶりの地方会となりますが、コロナ禍で培ったICTも活用しつつ、多くの方々に楽しんでいただける学術集会を目指します。演題発表される方々をはじめ出雲で交流を深めていただく現地参加の他に、「特別講演・教育講演・学術セミナー」についてはライブ配信を行いますので、現地参加は難しいけれども講演内容に興味があるという方々にはオンライン参加もご検討いただけます。

年度末のご多忙の時期とは存じますが、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

実行委員長 津本優子（島根大学医学部看護学科）

■プログラム

テーマ：「未来社会に向かう看護研究」

会 期：2024年3月17日（日）8:45～16:00

会 場：島根大学医学部看護学科（島根県出雲市塩冶町89-1）

○特別講演

テーマ：「AIの課題とこれからの研究」

講 師：津本周作氏（島根大学医学部教授・日本人工知能学会会長）

○教育講演

テーマ：「シミュレーション教育におけるVR利用の可能性」

講 師：阿部幸恵氏（東京医科大学医学部教授）

○学術セミナー

テーマ：「現象学入門－理論的背景から、分析方法まで」

講 師：西村ユミ氏（東京都立大学健康福祉学部教授・人間健康科学研究科教授）

○一般演題、学生演題

演題募集期間 2023年10月1日（日）～2023年11月30日（木）

事前参加登録期間 2023年10月1日（日）～2024年1月31日（水）

申込方法 最優秀演題賞のセッションも設けます。詳細はホームページをご覧ください。

○参加区分

演題発表されるかたは必ず現地参加としてください。オンライン参加は講演・学術セミナーのライブ配信のみが対象となります。詳細は学術集会ホームページをご参照ください。



（社）日本看護研究学会中国・四国地方会第36回学術集会事務局

島根大学医学部看護学科 担当：津本・古賀

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

E-mail: jsnr-cs36@med.shimane-u.ac.jp

学術集会ホームページ（上記QRコードからも入れます）

URL: <http://nr-36chugokushikoku.kenkyuukai.jp/special/index.asp?id=40742>

発 行 〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号 県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科 看護学コース内
一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局
発行責任者 会長／岡田淳子 広報委員長／佐伯由香